令和７年度　事業報告書

自　令和 7 年 4 月 1 日

至　令和 8 年 3 月 31 日

公益財団法人　性の健康医学財団

令和７年度　事業報告書

公益財団法人　性の健康医学財団

【事業概要】

令和７年度は、財団創立１０４年目の年であり、令和３年 10 月 22 日に実施した百周年記念式典の後、令和４年度に創立百周年記念誌を制作、財団の意義と歴史をとりまとめ、関係各所に配布し、財団百周年記念事業を無事終えることができた。

また従来から実施している各種普及啓発活動として、中高等学校へ赴いての性感染症出前講座、Ｅメールによる性の健康相談、性感染症予防活動に従事する医師、助産師、保健師、看護師、医療スタッフおよび学校で性教育を担当する養護教諭ならびにカウンセラー等を対象とした性感染症最新講座などの様々な事業を実施した。

１　第２５回「性の健康週間」事業の実施

令和７年 11 月 25 日から 12 月１日までの１週間を「第 25 回　性の健康週間」として位置付けホームページ等で周知した。

2　性の健康相談事業

Ｅメールによる性の健康相談

性に関する様々な相談メールに対し、適切な助言・指導を行った。

令和７年度の相談メールは、152 件。

3　青少年の性感染症予防のための情報提供事業

若者世代へ性感染症予防に関する情報を提供することを目的に、ホームページを随時更新し情報提供を行った。

4　その他の普及啓発活動

（１）機関誌「性の健康」の発刊・配布

機関誌通巻６１号から６４号を発刊し、会員及び関係機関等に配布した。

なお夏号は配布先を拡大し、全国の中学校・高等学校へも配布した。

（2）性の健康医学に関するホームページ

性の健康情報に関する財団のホームページにて、医師、保健師等医療関係者、養護教諭等学校関係者、一般市民、製薬会社、郵送検査事業等関連事業者それぞれに益する最新情報等を公開した。

（3）第17回臨床現場のための性感染症最新講座の開催

テーマ：人間行動と感染症

医師、医療従事者、教育関係者、その他関係者を対象に、最新の知見や情報を提供し、感染症に関する予防啓発のため講座を開催した。

開催日時：令和8年1月２５日（日）１３時２０分より１７時２０分まで

開催場所；日本大学医学部 リサーチセンター4階ホール

受講者数：３０名

講演内容：

開会挨拶　日本大学総合科学研究所教授　早川　智

講演１「「性の健康財団の歴史と土肥慶蔵」　公益財団法人　性の健康医学財団　理事長　北 村　唯　一

講演２「人間行動の進化と感染症」　日本大学総合科学研究所教授　早川　智

講演３「女性生殖器の細菌叢」　日本大学医学部准教授　髙田 和秀

講演４「う蝕(むし歯)と歯周病そしてヘルペス ー口腔を介した代表的な感染症ー」　NTT 東日本関東病院 病理診断科　早川美奈子

閉会挨拶　日本大学医学部教授　相澤志保子

（4）第１８回医療従事者と養護教諭のため性の健康基礎講座の開催

上記（3）事業と合同実施とした。

（5）性の健康カウンセラー講座の開催

助産師、保健師、看護師、医療スタッフ、養護教諭など性の健康活動に

従事する者を対象とした医療従事者と養護教諭の資質の向上と相談技能の取得を目的として講座を開催した。
今年度は、WEB と対面を組み合わせて開催した。
受講者数：（基礎）６名　（応用）６名

（６）中・高校生等を対象とした性感染症（ＳＴＩ・ＳＴＤ）出前講座
全国の中・高等学校生等を対象として、教育現場に赴き正しい性感染症の予防と知識を講義した。
実施校:宮城県立白石工業高等学校、社会福祉法人共生会伊豆長岡学園、春江中学校、他

（７）一般社団法人 日本性感染症学会　関東甲信越支部研修会
日本性感染症学会　関東甲信越支部研修会における、医師、薬剤師、保健師・助産師・看護師、臨床検査技師、学校養護教諭などを主たる対象として、研修会等を行っている。

2026 年 3 月 13 日（金）　都市の死角に潜む性感染症のリアル―若年層の孤立、性感染症、そして少年刑務所医師の視点から考え
会場：公益財団法人東京都福祉保健財団ウェルネスエイジにて
研修会、歌舞伎町・歌舞伎町・トー横ツアー（ツアーと記載）を行った。

（８）全国保健師性感染症予防対策研修会
わが国の性感染症の感染率は、若い世代を中心に高い現状が続いているため、保健師や助産師等が性感染症の予防対策について、地域の住民や関係者に正しい知識を提供することが重要となっている。

（９）東京都 HIV・エイズ啓発拠点事業　エイズフェスへの参加
東京都エイズ予防月間に合わせ、東京都 HIV・エイズ啓発拠点事業「エイズフェス」が開催されている。約 30 団体のブース出展・ステージパフォーマンスの１団体として出展した。
日時：２０２５年１１月２９日　場所：中池袋公園

5　調査研究事業

（１）「妊産婦に潜在する性感染症罹患率実態調査」
最近の性感染症は、臨床症状がなく無自覚のうちに一般市民の中にかなり広がっていると推測される、そこで日本産婦人科医会の協力を得て妊産婦の性感染症の実態検査を行い、調査し難い一般市民女子人口内に、広く潜在する性感染症疫学的実態を明らかにすべく.今年度は「妊娠中の肝炎感染に関する調査」として実施した。

6　性の健康医学研究推進のための助成

（１）　性の健康医学財団賞

財団創立 90 周年の記念事業の一環として、性感染症を始め性の健康を損なう諸要因を医学的に究明して性に関する医学技術の発展を図るため、性の健康医学財団賞を設けた。

本賞の研究課題は、性の健康分野、泌尿器科分野、産婦人科分野の　三分野それぞれの委員会において厳正な審査のうえ、理事長が決定するものであり、第 15 回目の令和 7 年度受賞者は以下の者と決定、10 月 22 日ソラシティにて実施された授賞式において、表彰状及び金一封を添え表彰した。

令和 7 年度性の健康医学財団賞受賞者（肩書は受賞時）

〇産婦人科学分野

八　木　　麻　未　(やぎ　あさみ)

和歌山県立医科大学医学部　先進予防・健康医学講座

Human Papillomavirus Vaccination by Birth Fiscal Year in Japan.

JAMA Netw Open. 2024 Jul 1;7(7):e2422513.

〇産婦人科学分野

香　川　　成　人　(かがわ　なりと)

麻布大学生命・環境科学部　臨床検査科

Molecular epidemiological and antimicrobial-resistant mechanisms analysis of prolonged Neisseria gonorrhoeae collection between 1971 and 2005 in Japan

JAC Antimicrob Resist.2024 Mar12;6(2):dlae040.

doi: 10.1093/jacamr/dlae040. eCollection 2024 Apr.

〇性の健康分野　　（該当論文無）

〇泌尿器科学分野　（該当論文無））

（２）日本性感染症学会との連携事業の一環として、学術奨励賞受賞者へ
研究助成金（10 万円）を交付した。

7　役員会及び評議員会等の開催

（１）理事会ならびに評議員会
定款等に定める諸規則により必要に応じ実施した。

（２）監事監査
事業報告及び収支決算の監事監査を実施。

（３）常任理事会
事業実施に係る諸課題等について適宜実施。（年間 3 回実施）

令和 7 年度事業報告書附属明細書の作成について

令和 7 年度事業報告に関して「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第３４条第３項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため作成しておりません。

令和 8 年 6 月
公益財団法人　性の健康医学財団